

# I 求める学生像

香川大学は、「世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」という大学の理念にふさわしい学生を求めています。

詳細については、本学のホームページ (<http://www.kagawa-u.ac.jp/>) を参照してください。

## 法 学 部

法学部は、法律学と政策科学の専門的な素養を身につけながら、①社会がかかえる問題を発見する観察力、鋭い分析力、解決案を導く柔軟な思考力、②社会のさまざまな利害関係の調整、紛争の解決、政策の立案を適切に行うための知識と技術、③自らのアイデアを的確に表現し、公正な議論を通して、社会の発展に積極的に貢献できる発信力などを養うことを目標にしています。

こうした力を養成する前提として、法学部に入学を希望する学生には、「現代社会への関心」「論理的思考力」「コミュニケーション能力」「社会の構成員としての自覚」という四つの資質を求めています。

- (1) 「現代社会への関心」 現代社会の動きに常に関心を持っている人。書物や新聞を通して、広く社会で生じていることに対する問題意識を深め、自分の意見を持っている人
- (2) 「論理的思考力」 物事をさまざまな角度からとらえ、筋道を立てて考えることのできる人
- (3) 「コミュニケーション能力」 文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力をもって表現できる人。相手の意見からも学べる人。議論をリードし発展させることのできる人
- (4) 「社会の構成員としての自覚」 社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自律的に行動できる人

夜間主学生として、就業しながら勉学することに対する明確な動機や高い意欲を持つ学生を歓迎します。また、本学部に入學を希望する人は、文系・理系にかかわらず、高等学校で学ぶ幅広い分野における基礎的な学力を身につけていることが必要です。高等学校での学習内容は、大学教育の前提となるものです。まずは国際的な視野とコミュニケーション能力を重視することから、英語及び国語の基礎的な能力を身につけている必要があります。また法学・政治学は社会科学ですから、地理・歴史あるいは公民などの社会科の科目における基礎的な学力も求められます。さらに数学・理科についても、法学・政治学に必要な論理的思考力を培うという観点から、基本的な能力が必要とされます。

## 経 済 学 部

本学部では、経済や社会に関するさまざまな現象に関心を持つだけでなく、解決を必要としている問題を発見し、自ら解決できるような知識と技能を修得したいと考えている学生を求めています。具体的には、論理的思考方法、情報の収集及びコンピューターを用いた処理技術、プレゼンテーション技術、コミュニケーション方法などを修得した上で、グローバル化する社会において自己が果たすべき社会的責任と倫理観を備えるとともに、経済や社会の仕組みに関する専門的知識、企業の経営や戦略に関する専門的知識、会計に関する専門的知識、世界各地の言語、社会、文化、歴史に関する幅広い知識などを修得したいと考えている人、そして以下のような領域等で活躍したい人を求めています。

- (1) 官公庁において国や地域の運営や活性化
- (2) 企業における経営や戦略の企画・実践
- (3) 海外での仕事や国際取引

入学を希望する人は、高等学校において学ぶ、英語、数学、国語を中心とした基礎学力を身につけている必要があります。英語・数学・国語の基礎学力は、次のような理由から必要になります。英語の基礎学力は、大学において、国際的なコミュニケーション能力を本格的に養うために必要です。数学の基礎学力は、数学的な推理能力や論理的な能力を必要とする専門科目の講義を受けるために必要です。国語の基礎学力は、講義やゼミナールで文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。

さらに、夜間主学生として、就業しながら勉学することに対する明確な動機や高い意欲を持つ学生を歓迎します。入学後は就業と勉学の両立を前提とします。

## Ⅱ 募集人員

〔社会人入試〕

学 部 等	学 科	募集人員
法 学 部 (夜間主コース)	法 学 科	10人
	計	10
経 済 学 部 (夜間主コース)	経 済 学 科	6
	経 営 シ ス テ ム 学 科	8
	地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科	6
	計	20
合 計		30